

# ファッション情報 2008プレッピーの今後

2007年頃からプレッピー\*1が注目されています。過去に流行したことのあるプレッピールックですが、過去と現在では少し装いが異なります。

\*1「プレッピー」とは、名門大学進学のためのエリート校に通う学生たちが好んでいたスタイルやコーディネート。名前の由来はエリート校をプレパラートリー・スクール(Preparatory School)と言うところから派生したといわれている。また、1980年代後半に現れた「渋カジ」のルーツである。

## ■プレッピールック

70年代のアメリカのプレッピールックの代表的な柄はチェックが挙げられ、中でもマドラスチェック(図1)はプレッピーの典型的な柄といわれています。アイテムは大学のエンブレムがついた紺のブレザー、ポロシャツ、ボタンダウンシャツ、ラベル周りのパイピングジャケット、ジーンズなどが挙げられます。

スタイリングはブレザーにポロシャツ、チェックのジャケットと蝶ネクタイやニットタイの組み合わせなど、カジュアルでありながらラフすぎないコーディネートです。



図1 マドラスチェック

2008年現在のプレッピーは、当時の服をそのまま模したものではありません。服自体のシルエットが、全体的にタイトな傾向にあり、ジャケットの丈は短めで、下衿のラベルの位置もあがって、Vゾーンが浅くなっています。パンツの丈も同様に短めになってきています。これらの流れを踏まえ、現在のシルエットを生かしながらプレッピー風の柄や生地を使い、新たなプレッピーのイメージを形成していると言えるでしょう。

## ■プレッピーの今後

プレッピーは大きな意味でアメリカン・トラディショナルと呼ばれることがあります。アメリカン・トラディショナルの原点は、ブリティッシュ・トラディショナルと言われていています。イギリスの伝統的な装いで、タータン・チェックやシェパード・チェック、千鳥格子などイギリス生まれの柄を使い、伝統を感じさせる装いです。2008-2009A/Wのコレクションでは、ヨウジヤマモトやコムデギャルソン、D&Gなど一部のブランドで英国風な装いを感じさせるアイテムが登場しています。プレッピースタイルの延長上で、新たな流れを感じさせるブリティッシュ・トラッド。今後の動向に注目が集りそうです。

事業化支援部 <墨田支所>

加藤貴司 TEL 03-3624-4091

E-mail : kato.takashi@iri-tokyo.jp



チェックのイメージマップ

TIRI News

2008年11月号 通巻31号

発行日/平成20年10月25日(毎月1回発行)  
発行/地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター  
経営企画本部 経営情報室 広報係  
〒115-8586 東京都北区西が丘3-13-10 TEL 03-3909-2151 内線275  
企画・印刷/株式会社デンタルインプレス

(転載・複製をする場合は、経営情報室広報係までご連絡下さい。)

この刊物は印刷業界に貢献する  
印刷会社です。  
R100  
印刷業界100年記念誌発行しています。